

かながわの未来に 今できること

機 関 誌
1 3 7 号
2 0 2 5

ミドリ

midori

公益財団法人
かながわトラストみどり財団

財団設立
40周年

もう一つの関東大震災

丹沢・箱根山地における地震災害復旧の歴史

小網代の谷とホテル／流域思考の小網代保全20年

「藤塚松星氏に学ぶ伝統工芸の竹の世界」報告

- 01 連載 桃山のイモ山ばなし①
ジャコウアゲハとウマノズクサの巻 桃山鈴子
今回号より桃山鈴子さんがイモムシにまつわる
絵と随筆を連載します
- 02 もう一つの関東大震災
丹沢・箱根山地における地震災害復旧の歴史
内山豊
- 06 小網代の谷とホテル
江良弘光
- 10 流域思考の小網代保全 20年
岸由二
- 11 かながわのナショナル・トラスト運動の
歴史と将来展望②
引地孝一
- 12 2025 年度自然観察&体験イベント
【報告】 藤塚松星氏に学ぶ伝統工芸の竹の世界
小網代の森ホテル
- 14 2025 年度森林ボランティア
- 15 事務局だより
県庁本庁舎公開イベント
京急百貨店上大岡フェスティバル 2025
- 16 寄附キャンペーン 財団設立 40 周年寄附金募集事業

表紙の写真



2025年5月開催の三渓園での竹工芸講座の様
格高会場で熱心に先生の話のを伺う参加者
→記事P13

機関誌「ミドリ」年4号から3号発行について

今年度より機関誌ミドリは年3回発行となり
ます。ページ数を増やすなど、情報量はそのま
まに、またウェブサイトでも読みやすい記事を掲
載し、魅力あふれる情報発信に努めています。

会員の皆さまへ

- ※転居先不明で返送されるケースが増えて
います。住所などの変更がありましたらご連絡
ください。
※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト
(<https://ktm.or.jp>)で読むことができます。
発送停止をご希望の方は財団事務局までご
連絡ください。

かながわの未来に、今できること



公益財団法人

かながわトラストみどり財団

1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する
様々な活動を展開しています。約9千人の会員の支援や募金寄附、
ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に
引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525

✉ midori@ktm.or.jp

✂ @kanagawa_midori

f facebook.com/ktm.or.jp

i kanagawa_trust

会員 & 寄附募金のお知らせ

トラスト会員を募集しています。どなたでも会員になれます。ご支援ください!

普通会員 (トラスト会員)

かながわのみどりを守り育てる運動を
支える会員です。

| | | 年会費 |
|-------|----------------------|----------|
| 個人 | 大人 | 2,000 円 |
| | 小学生500円、中・高校生1,000 円 | |
| 家族 | 1 家族 | 3,000 円 |
| 法人/団体 | 1 口 | 10,000 円 |

トラスト緑地保全支援会員
(オプション・任意加入)

普通会員の方に任意の加入で特定の緑
地を支援していただく会員です。

| | 年会費 |
|-----------|----------|
| 個人/家族 | 3,000 円 |
| 法人/団体 1 口 | 10,000 円 |

※5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。

会員特典

●会員証

みどりのトラスト会員
の証として会員証を
発行します。

●機関誌「ミドリ」

財団の最新情報や県内外の
自然、環境問題など盛りだく
さんの内容です。

●優待施設の利用

会員証及び優待券によって、各地の指定
施設を優待利用できます。トラスト運動
に賛同していただいている施設です。



財団への会費や寄附は税額控除の対象になります。

現在の会員数

(2025年3月末現在)

| | 普通会員 | 緑地保全支援会員 |
|---------|---------|----------|
| 個人会員 | 3,268 人 | 474 人 |
| 家族会員 | 5,332 人 | 690 人 |
| 法人・団体会員 | 353 人 | 53 人 |
| 特別・名誉会員 | 310 人 | |
| 計 | 9,263 人 | 1,217 人 |

遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附につ
いて関心が高まり、遺贈を受け
た公益事業を推進しております。
遺言の財産受取人として、公益
財団法人かながわトラストみど
り財団をご指定いただけます。

「かながわトラストみどり基金」への寄附状況

寄附累計額 (2025年4月末現在)

14億8,692万8,523円

寄附者名 (2025年1月~4月) ※敬称略、アイウエオ順

大蔵プリンスホテル、株式会社伊藤園、神奈川えびね会、株式会社神奈川保健事業社、鎌倉プリンスホテル、
株式会社環境管理センター、新横浜プリンスホテル、箱根仙石原プリンスホテル、箱根湯の花プリンスホテル

かながわトラストみどり財団への寄附(2025年1月~3月)

財団へ寄付をいただきましたので紹介します。誠にありがとうございました。

※敬称略、アイウエオ順

池谷 善博、板橋 奈津子、伊藤 政徳、方波見 淳、小網代会館、国際ソロブチミスト、小宮山 公恵、齋藤 裕美、佐
久間 奈都子、柴崎 えつ子、清水 紀彦、菅野 実、杉山 結美、鈴木 和男、武田 英敬、田中 洋子、坪田 弥乃子、
永瀬 マサ、西島 邦好、沼賀 喜代子、沼沢 要二、根岸 厚郎、PARAMETA INC.、足田 安曇、平岡 大作、平岡
智子、古澤 琴風、堀内 敏男、増子 忠治、村田 かほる、守屋 京子、山影 正裕、山羽工業(株)、山本 勝久、横濱
英紀

桃山のイモ山ばなし

～ シヤコウアゲハとウマノズグサの巻～

水無月

文月

葉月

臭角は
ココアパウダー
にイモチにおい

たまにカククと
ロボットのような
うごき方をする



私の好きなシヤコウアゲハのメカ虫は、ウマノズグサを食べて育つ。ウマノズグサはどこのどこに生えているわけではない。今住んでいる町では農協の裏の土手以外見かけたことがない。土手は秋まで定期的に草刈りされ、その度にウマノズグサと共に卵やメカ虫は姿を消してしまう。最初は女坊主になった土手を見て、悲しい気持ちだったが、しばらくするとウマノズグサはつるを伸ばし、シヤコウアゲハが産卵に来て、また幼虫たちが夏辰やかになった。たぶん草刈りがなかったらススキなどに覆われ、ウマノズグサは枯れてしまったことだろう。定期的な草刈りというヒトの介入によってウマノズグサもシヤコウアゲハも命を繋いでいるのだった。〈後日談〉先日、草刈りの人がいたので、卵付きのウマノズグサを一株持ち帰ったが枯れてしまった。卵もあきらめていたところ、幸丸筆中の今朝、隣にあった別のウマノズグサの金本植えに大きな終齢幼虫を見つけた! よかった!!



もう一つの 関東大震災

丹沢・箱根山地 における地震災 害復旧の歴史

神奈川県森林協会 内山 豊

はじめに

神奈川県森林協会には、古い一冊の報告書が残されている。「関東震災荒廢林地復舊事業報告」である。発行者は神奈川県林務課。発行年は定かではないが、大正12年度から昭和4年度までの震災で荒廢した丹沢山地や箱根山地の復旧事業の写真や事業実績が掲載されている。所々語句の修正や追記がなされている。この報告書は、終戦後から昭和42年(1967)まで、当協会の前身である神奈川県治山治水協会専務理事を務められた関口権次郎氏の手記によると「確か県治山治水協会の図書として残っている筈」とされているものである。

関口氏は、大正12年(1923) 9月1日の関東大震災発生から4か月後、大正13年(1924) 1月に、東京帝国大学林学実科・砂防学教授の諸戸北郎博士の強い推薦で、神奈川県に赴任し、昭和12年(1937) 農林省山林局に転勤するまで、震災で荒廢した丹沢山地などの林地復旧に尽力されている。

その関口氏が赴任した当時、目の当たりにした関東大震災の被災状況もその手記に記されている。その一部を紹介すると、「関東大震災による、丹沢山塊の惨状は筆舌に尽くし難い。その一例を話そう。山北町の共和、当時の共和村の人遠か、八丁の部落附近あたりだったと思うが、対岸の山腹が、谷戸を飛び越えて反対側の山腹へおほいかぶさっていたし、また、丹沢山塊の至るところで谷が埋められて、頂上近くまで谷に沿って道が付き、自動車でその頂上まで行けるようなところが数多くあった。そして、どう復旧したらよいかさえ分からなかったといってよい。」(神奈川県林業史)と、溪流を挟んだ対岸から地震で崩壊した土砂が飛び越えるといった想像もつかないような事態が発生していたのである。

当時、治山や砂防といった山地復旧の技術は、神奈

川県ではほとんど実施されていなかった。このため、諸戸北郎博士のもとで砂防学を学んだ関口氏ら技術者が呼び集められたのであるが、その技術者の眼に映った山地荒廢は、復旧方法さえ見出せないほどの凄まじいものであった。



共和村人遠の溪岸崩壊と山腹工事
(大正13年頃)

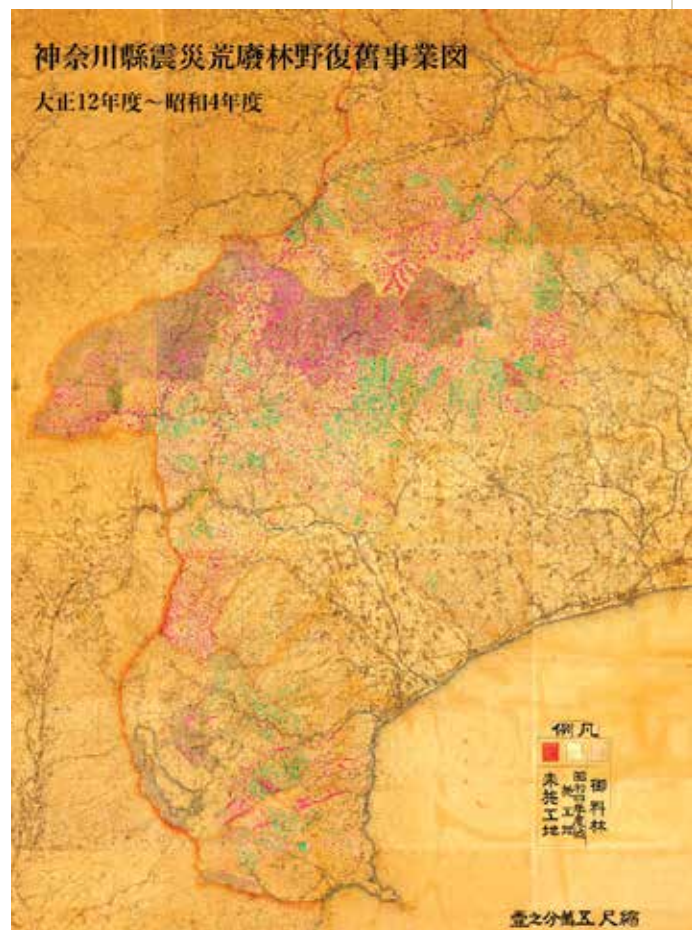


図1 神奈川県震災荒廢林野復旧事業図 神奈川県所蔵

震災による山地災害の状況

図1は、関口氏らが復旧に当たった実績を示したものである。崩壊地は8,632 ha（表1）、近年における国内最大級とされる地震による山地荒廃、平成30年(2018) 9月発生、北海道胆振東部地震の約4,300haをはるかに凌駕する規模であり、その負の影響は、当時、山村の生業である製炭業だけでなく、横浜水道の供給をはじめ、堆積土砂による各河川の河床上昇が引き起こす都市部・農村部への水害は、長期間に渡り住民を悩ませることとなった。以下、被災の様子を伝える記録を紹介する。

「いざ山に登って山と言う山、嶺と言う嶺がすっかり土砂を洗い流して、岩石の骨を露わに出している惨状は、とても正視するに忍びない。こうらのしら崩れと言う山がある。崩れとしての名物であったが、今はどこを見てもしら崩れである。諸子平付近の山の如きは全山真白で、樹と言う樹は皆んな河流に押し流されている。」(「横浜貿易新報」大正13年8月3日(日) 8418号)(写真1)

「神ノ川は巨木大石が押し流された爲めと兩岸が甚しく崩壊した爲めとで、磧(※かわら)が廣くなり今では川原傳ひに三里も奥へ歩ける」(武田久吉「丹澤山塊略説(三)」)

「多くの人びとが山林からの収入によって生計を立てていた高部屋村日向地区では地震によって80町歩が崩壊するという大きな被害が生じた。さらに山頂山腹には亀裂が生じていたため、山津波の発生によって被害が拡大した。」(伊勢原市史通史編近現代)

「大正12年9月1日関東大震災、同年9月15日の大洪水により発電所はもちろん河原付近の家は流失し、さらに翌13年1月15日に丹沢山地が震源地とされる地震で土石流が発生して河原の少しの高台に残っていた家も流されてしまい札掛は一変してしまった」

| 流域 | 荒廃面積 |
|---------------|-------------------|
| 相模川 | 2,496.60ha |
| 花水川 | 660.81ha |
| 酒匂川 | 4,346.08ha |
| 早川 | 378.20ha |
| 森戸川 | 32.82ha |
| 足柄下郡その他流域 | 260.49ha |
| 要施業面積計 | 8,175.00ha |
| 不要施業面積 | 457ha |
| 総計 | 8,632ha |

表1 震災荒廃林野面積



写真1 震災直後の諸子平休泊所 神奈川県所蔵



写真2 札掛、布川河床の土砂堆積
大正14年9月

(山口あや子「丹沢札掛の話」)(写真2)

「大正12年9月1日午前11時58分、ごうごうたる地なり、地ひびきの音とともに、草や木も吹きちぎって巻きあがる黄煙は、天日ともに暗く、鳥屋山が悲鳴をあげて崩れる凄惨な地獄絵図を見るようであった。もはや山林経営も終るの感があり、人々は呆然自失した。この時、沢も谷埋めつくした土砂によって鳥やけものの巣を奪い、溪流魚が絶滅に瀕した。」(鳥屋財産区史編さん委員会「鳥屋財産区の歴史」)

「旧玉川は、関東大震災のあとは、降雨のたびに河床が高くなり、豪雨のときには忽ちはらんして被害が続出し、美田を潤した玉川が人命を奪う魔の川となってしまった。」(武村雅之「神奈川県内陸中部での関東大震災の跡」)

「大正13年(1924年) 9月のときは青山における沈澄作業も効なく、濁水は西谷浄水場に達し、ろ過池のろ過膜を閉そくし、ろ過能力全く減退してついに9月19日・20日の両日市内全般にわたって減水または断水」(横浜市水道局「横浜市水道70年史」)

図2は、溪流魚であるヤマメ・イワナの絶滅範囲を示した図である。神ノ川、早戸川、中津川、玉川、日向川、大山川、金目川、葛葉川、水無川、寄沢、深沢、玄倉川といった溪流において絶滅していることから、これら河川における土砂の流出・堆積の凄まじさが理解できるものと思う。

旧玉川や道志川における横浜水道取入口のように、その激害地の下流では、震災後の降雨毎に土砂が押し出し、飲料水の取水に支障をきたし、洪水は耕地や住環境に長期間影響を与えることになっていった。

図1にみる崩壊地は、その地震発生時の崩壊だけでなく、その後の余震や降雨により、崩壊地そのものを

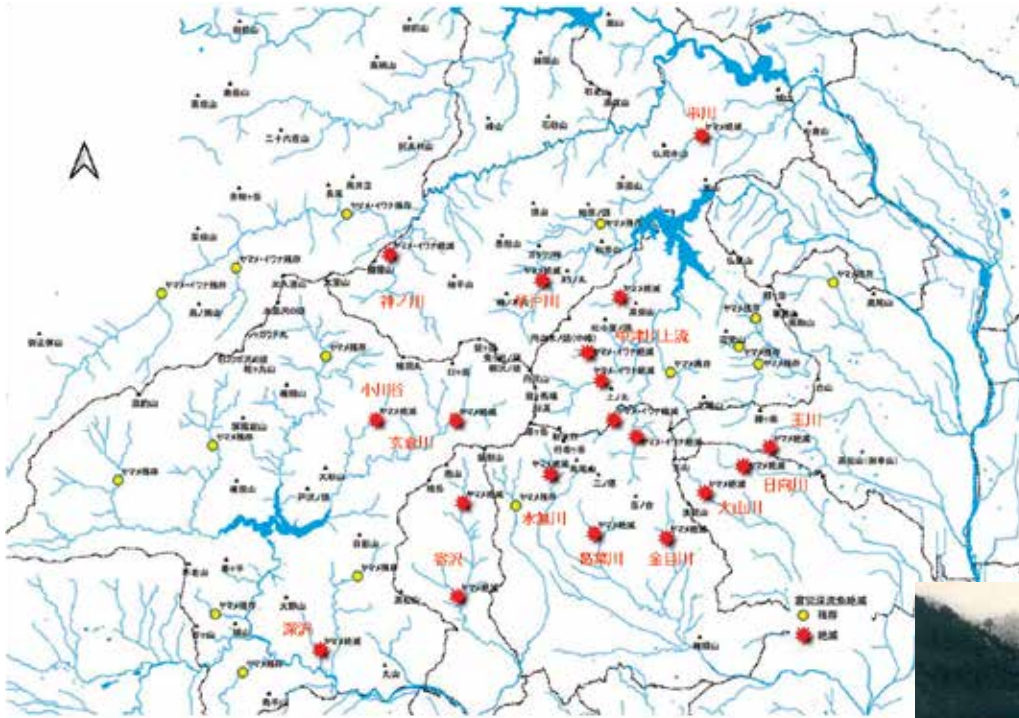


図2 ヤマメ・イワナの絶滅に見る崩壊・土砂流出激害地
鈴野藤夫「丹沢釣り風土記」
より作成

写真3 玄倉川上流箒杉沢の河床に
堆積する山腹崩壊土石 神奈川県
所蔵



拡大させ、溪流に土砂を堆積させたものを反映している(写真2、3)。

復旧工事

こうした状況で、民有林の復旧工事は、被災当年度の大正12年度(1923)から昭和4年度(1929)までの7年間、全額国費で実施されることとなった。また、皇室の御料林(図1、灰色着色部)については、大正13年度(1924)から昭和10年度(1935)にまでの12年間実施された。

この広範囲にわたる崩壊地の復旧計画については、最近見つかった東京大学森林生物地球科学研究室に残されていた資料によると、緊急的な工事实施と並行しながら、国や東京帝国大学林学科諸戸北郎教授の助言のもと、崩壊成因、傾斜、方位、表土厚、所有、復旧見込みなどが綿密に調査把握され樹立されたことが明らかにされている(鈴木雅一「関東大震災の土砂災害報告書：勝沼恭太郎「中津川流域荒廢地調査報告」(1924)について」)。

民有林における復旧工事は、昭和4年度(1929)に世界恐慌の波及など経済状況の悪化により、打ち止めとなるが、昭和6年(1931)9月発行の「神奈川県山林會報 第8号」の巻頭言において、復旧工事の陣頭指揮を務めた初代林務課長中田寅之助がその進捗を報告している。

その報告によると総復旧面積は、8,632haの荒廢林野に対し1,912ha(復旧率は22%)、事業費総額は292万232円、炭焼などの生業が不可能となった山村失業者を、昭和4年度(翌年度繰越を含む)までに133

万人を雇用したと報告した上で、「然るに未だ全崩壊面積の三分の一より完了致して居りません、残りの三分の二を此儘に放任する事は許しませんので縣は勿論本會に於ても極力政府に陳情懇願致し」として、その復旧工事継続の必要性を強調している。

図1の緑色に着色された箇所が昭和4年度(繰越含む)までの復旧地を示し、赤色の着色箇所が未着手箇所を示している。なお、昭和6年12月に御料地の一部が県に下賜となったことから、図1の主に急峻で山岳地の上部にある未施行地のほとんどは、県が復旧主体となったが、戦時体制に突入し、その復旧は戦後に持ち越されることとなる。

当時の復旧工事は、「えんていをみたことも、造ったこともなかった」とあり、愛知や山梨など荒廢地復旧を先進的に行っていた地域から堰堤工事や山腹工事の実績のある職人を呼び寄せ、石材・萱(ススキ)・竹など現地材を活用した基礎工事を行ったうえで、ヤシヤブシヤマツなどを植栽し森林に戻す努力が行われた(写真4、5)。

戦後、昭和27年(1952)4月林野庁指導部は、全国的に荒廢規模が広大で、かつ公共性の深刻と認められる区域のひとつとして「丹沢山一帯」を指定し、その荒廢状況を調査している。これを受け、国では玄倉に「丹沢事業所」を設置し玄倉川上流部の直轄治山事業に着手するとともに、県では溪流荒廢 4,719ha、山腹



写真4 三保村箒沢の山腹工事(菅筋工・編柵工・マツ植栽)大正14年度工事
写真5 山北町世附に残る現採石の堰堤 昭和2年度工事

荒廃 2,658haとして、昭和28年度から7年間の「林野保全計画」を樹立し、その実行機関として丹沢山地の東西、宮ヶ瀬と三保に治山事業所を設置し、戦時において中断していた復旧を再開した。

その後、度重なる風水害に対処しつつ、平成9年(1997)から13年(2001)の国・県の治山事務所が廃止されるまで約80年間、山地の復旧工事が延々と行われ、今日、私たちが享受する丹沢山地や箱根山地の森林の基礎が固められたのである。

おわりに

こうした先人たちが営々と復旧に取り組んできた森林は、現在、気象変動下の豪雨に晒されるようになってきた。また、いつも霧に覆われることの多かったモミ林やブナ林などが後退し、それらの枝からぶら下がっていたサルオガセは消え、丹沢山地の森林の下層を覆っていたスズタケが消滅し、そこに依存していたコマドリの囀りも聞こえず、土壌は侵食がはじまり、残った林床はニホンジカの好まない植物だらけになり、ヒルが丹沢中に広がり、いつしかこの単純化された森林が、当たり前のように「自然豊か」と形容されるようにまでなってきた。

人の手で取り戻してきた森林が、いつしか真綿で首を締められるように蝕われ、健全であることの基準も変わってきている。

崩壊地をひとつひとつ測量し、復旧方法を検討し、将来森林に戻ることに情熱をかけた先人たちは、どう見ているのであろうか。ネイチャーポジティブ宣言も生物多様性保全を叫ぶ声も空回りさせてはならない。なぜなら森林の衰退は、この震災復旧史が示す

とおり、私たちの生存基盤そのものを危うくするからである。

防災の日、先人から渡されたバトンの重さを改めて思い返す一助として記す。

参照資料

- 1 神奈川県林務課「関東震災荒廃林地復舊事業報告」発行年不明
- 2 神奈川県農政部林務課「神奈川県林業史」発行年不明
- 3 神奈川県「神奈川県震災荒廃林地復旧事業図」発行年不明
- 4 秦野市「秦野市史史料叢書第8集 新聞記事」平成16年1月、「横浜貿易新報」大正13年8月3日(日) 8418号
- 5 武田久吉「丹澤山塊略説(三)」大正13年5月 科学知識五月號、科学知識普及協会
- 6 伊勢原市「伊勢原市史通史編近現代」平成27年3月
- 7 武村雅之「神奈川県内陸中部での関東大震災の跡」歴史地震第29号(2014)
- 8 山口あや子「丹沢札掛の話」平成15年1月
- 9 横浜市水道局「横浜市水道70年史」昭和35年3月
- 10 鈴野藤夫「丹沢釣り風土記」1990年10月、白山書房
- 11 鈴木雅一、内山豊、堀田紀文(2025)関東大震災の土砂災害報告書：勝沼恭太郎「中津川流域荒廃地調査報告」(1924)について、砂防学会誌77(5)
- 12 神奈川県山林會「神奈川県山林會報 第八号」昭和6年9月

プロフィール

内山 豊

1987年神奈川県庁に入庁。森林・林業関連行政に携わり、主に森林起因の災害に関する復旧や予防(森林保全分野)を担当。2023年に定年退職。現在、神奈川県森林協会専務理事として、会員(市町村・森林組合等)の取組を支援している。

小網代の谷とホタル

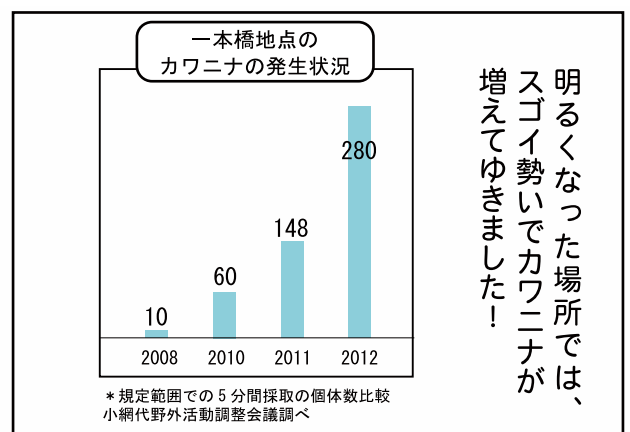
文・マンガ NPO小網代野外活動調整会議 江良弘光



耕作終了から五十年近く管理されず、周りの木が伸び放題で川をおおってしまい、小網代の浦の川はすっかり暗い川になってしまっていたので



管理作業によってだんだんと明るい場所が増えると、川の生きものにも変化が表れました。





カワニナは
取れるんですが...

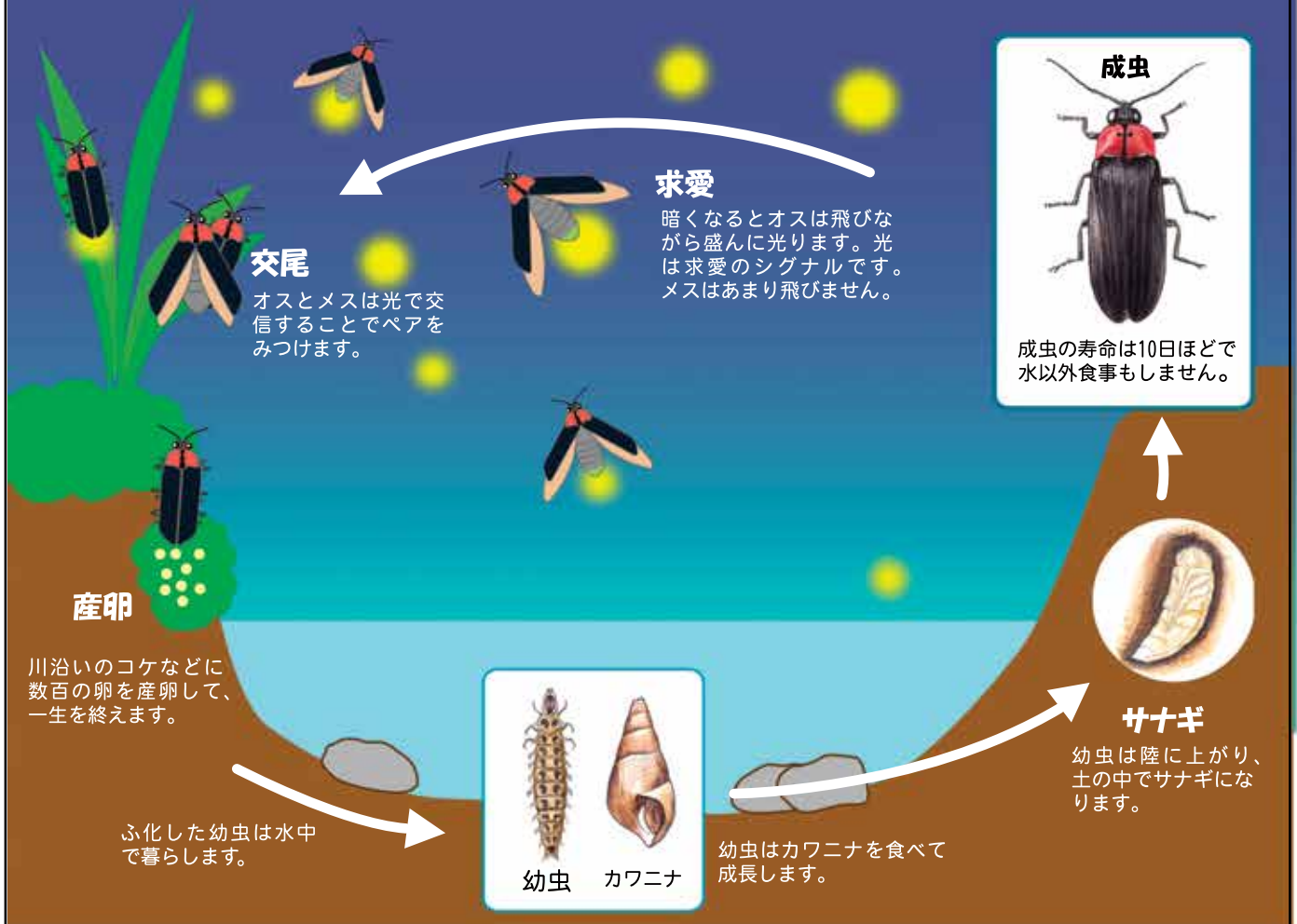
しかし、カワニナが増えてもホタルはなかなか増えず、明るくなって3年たった2012年もホタルの発生数は谷全体で200頭弱で変化なし、なのでした。

2013年の大乱舞

ところが、翌2013年6月8日には約600頭が乱舞してビックリ！
どうも、カワニナが増えてもホタルの復活には2~3年ほどかかるようです。その後は順調に増え、今に至ります。

ここでちょっと、
ホタルの生涯を
ご紹介

ゲンジボタルの一生



図で見るように、カワニナの他にもホタルにとって大事なことがあるのがわかります。

それは
・光の求愛を妨げない暗い水辺があること

・産卵やサナギになる時に必要な自然な川辺がある事

街灯が無く、護岸されていない川が流れる小網代の谷はゲンジボタルの生息に適した場所なのです。



その後2015年にも変化がありました



ゲンジボタルがないはずの8月にやなぎテラス周辺でたくさんのホタルが観察されたのです。そのホタルはヘイケボタルでした。

ゲンジとヘイケ出現時期の違い

| 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|----|--------|--------|----|
| | ゲンジボタル | | |
| | | ヘイケボタル | |

ヘイケボタルの出現時期はゲンジボタルより遅く、期間も長いので7月中頃から8月末まで光る姿が見られます。



【ヘイケボタル】

ヘイケボタルのが暮らす場所は湿地や池などあまり流れの無い水辺です。そのため、小網代では湿地の回復にともなって復活し、2015年の夏にたくさん光る様子が観察されたわけです。

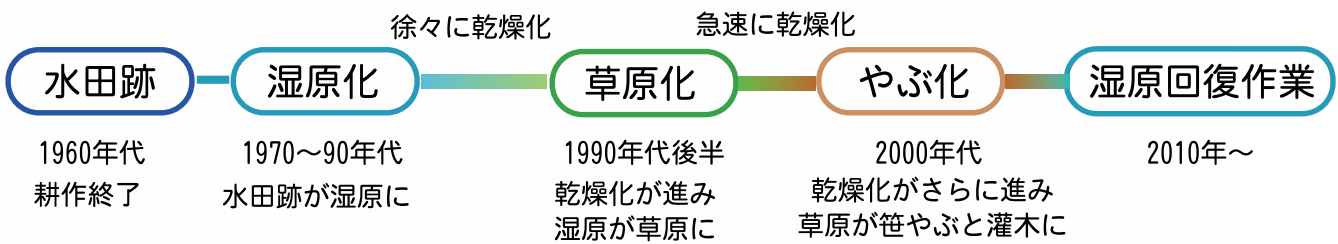


復活した湿原

2010年頃から湿原の回復作業が始まりました。湿原が増えると、そこに暮らすヘイケボタルもじわじわ増え、5年がかりで目立つほどになったのです。

小網代の谷の移り変わり

ヘイケボタルが増えたのには谷の環境変化が大きく関係しています。ここ80年ほどでおきた谷の環境変化を追って見ましょう。



耕作終了から五十年近く管理されず、湿原の乾燥化がすすんで中央の谷は笹やぶに覆われていました。



2008年の中央の谷

湿原回復作業



2015年の中央の谷

それが5年あまりの作業で見事な湿原に復活しました。調整会議がなりました。

川が明るくなり、湿原が回復することで、
ホタルだけでなく多くの生きものが復活しました。



こうした生きものの賑わいは調整会議による
日々の管理作業によって維持されています。



森の整備



湿原の整備



水路の整備



小網代は流域ごと保全された素晴らしい場所ですが、その分自然の力も大きくて…



作業後半年で草に覆われた川

手を入れてもあっという間に草や灌木に覆われ元に戻ってしまいます。



そのため、生きものの賑わいの維持には、日々の管理作業が必要不可欠なのです。



管理にはどうしても人手と費用がかかります。

会員の皆様引き続きご支援よろしくお願いいたします。

流域思考の小網代保全 20年



河口の石橋から干潟を望む

小網代の森が正式に保全されたのは2005年9月。今年で満20年になります。どんな法律により、なにを主たる理由として保全されたのか。記念となるタイミングでもあるので、以下、簡単に紹介させていただきます。

小網代の森の保全を決めたのは、国土交通省の国土審議会。「首都圏近郊緑地保全法」という聞きなれない法律が適用されました。近郊緑地という名前は、1958年の首都圏整備計画における「グリーンベルト」を指す用語でした。諸事情でその計画が破棄されたあと、ベルトとしての連続性はなくても首都圏には大規模緑地の保全が必須という考えで施行された法律でした。2005年9月21日、この法律にもとづいて小網代地区の保全がきまったのです。

指定の根拠は、小網代区域が完結した流域生態系であるという事実でした。保全を広報した国交省の文書に、「小網代区域は、・・・関東地方では唯一、水系を軸に森林、湿地、干潟及び海が自然状態でまとまった完結した集水域」と明記されています。「集水域」は「流域」と同じ意味の専門用語です。小網代は、雨の水が、浦の川という延長1.2kmの小川に流れ込む地形（大地の凸凹）、つまり浦の川水系の流域を、70ha規模で保全した、流域思考の流域生態系保全なのです。「小網代の森」と通称される保全区域は、地形でいうと、浦の川水系の流域生態系だ、ということですね。

保全地域の広がりを見覚えるのは簡単ではありませんが、良い手掛かりは河口の石橋です。2011年の津波をうけて基礎が破壊され、いまは通行禁止ですが、眺望テラスから全容を見ることができます。大雨の水がこの河口に集まる広がりや浦の川の流域=集水域=保全区域ということになります。眺望テラスから上手に展望できる森や湿原は、すべて保全地域の一部です。

実はもっと画期的な事実もあるので。干潟の緑だけでなく保全地域には干潟を囲む南北の岬の緑も含まれています。干潟を縁取る塩水湿地の緑のベルト

や岩場も保全されているのです。浦の川の河口石橋より下流の広大な領域が、なぜ保全されているのか。

答えは上げ潮引き潮で水面の上下する干潟の地形。石橋は行政がきめる浦の川の河口地点ですが、引き潮時、その石橋から最大300mほど先まで潮が引き、泥干潟が現れるのです。その干潟の中を、裏の川の、引き潮時の下流が、「滲筋」となって流れ下り、南北の岬をつなぐ線のあたりに「引き潮時限定の河口」ができるのです。もう、答えが分かったかもしれません。小網代保全をきめた国土交通省は、引き潮時のその河口に大雨の水が集まる陸域を、まるごと保全地域に含めたのです。だから、上げ潮時に海に沈まない左右の岬の斜面林も岩場も塩水湿地も保全地域に入ったのです。形式ではなく、生態学的な必然を配慮した流域思考によって、集水域=流域生態系がまるごと保全された奇跡の流域。それが小網代の森なのです。

保全から20年。世界は、水循環のかく乱を介して、生物多様性や気候変動危機のまっただなかです。流域思考の治水、自然保護、都市計画が一気に注目されてゆくこれからの時代、小網代の森は、流域学習の聖地になってゆくのもかもしれません。



プロフィール

きし ゆうじ
岸 由二

慶應義塾大学名誉教授。専門は進化生態学、流域アプローチによる環境保全、都市再生など。

かながわのナショナル・トラスト運動の歴史と将来展望②

県民1人1人が主役の
ナショナル・トラスト運動へ

公益財団法人かながわトラストみどり財団 理事長 引地孝一

3 神奈川の自然は日本にとってかけがえのないもの

本県は箱根・丹沢の緑や相模湾に代表される自然海岸が残るなど、全国屈指の県です。2005年に本県が将来の姿を展望した「神奈川力構想」を提唱しました。神奈川は、開港、開国以来、日本の近代化をリードした先進性と優れた技術力から、「神奈川力」としました。

私のいう「神奈川力」は、都道府県の比較で考えました。色々な分野を数値化する

ると、全国の都道府県数は47ですので、約2%あれば平均ですが、本県は様々な数値が6%を超えています。

例えば、学生数は18万人(6.6%)。さらに、生徒数は小学校45万人(7.3%)、中学校22万人(6.9%)です。他では、映画館のスクリーン数は221(6.1%)。NPO法人3514(7.0%)です。

神奈川の緑の保全の歴史

本県は高度経済成長時代に人口が急増し、1980年代は700万人でしたが、現在は922万人です。

それに、比例するように、緑地面積は1972年の県土面積に対する、農地と森林を合わせた割合は54.0%から減少を続け、2016年47.3%に減少しています。この結果、森林の保水率も下がり、気候変動による影響もあり、水害等のリスクも高まっています。一方、森林を開発して広い土地を使用するゴルフ場は、高度経済成長期に数多く設置されました。現在、全国のゴルフ場は2123(2024年)ですが、本県は51、全国比でいえば2.4%です。これも偶然ではなく、県が開発による緑の減少を防ぐための「新規ゴルフ場開発禁止」(1972年)により、森林の保全が図られました。

もう一つ、緑の保全例として、相模湾沿いの国道134号線の整備と自然保護があります。1980年代当時、道路整備と松林の伐採というトレードオフ問題を抱えていました。そこで県は湘南なぎさプラン(1980年)を策定し、対応しました。問題解決のため「松を一本切ったら、二本植える」発想で、「県民1万人10万本植樹」など県民参加による施策を行いました。余談ですが、自然を大切にすることは本県だけでなく、古くは江戸時代肥前佐賀の唐津藩で行われました。唐津市の「虹の松原」は、約150万本の松が2里(8キロ)にわたって続くため2里の松原とも呼ばれ、三保の松原、天の橋立と共に日本の3大松原です。当時の藩主は北部の海に面する松原を砂防林として育成するため、「松を一本切ったら、その者の腕を切る。」と言う厳しい政策で守りました。私達も、先人の努力を生かす工夫をして、ナショナル・トラスト運動や森林の保全活動を息の長い



トラスト緑地・長者ヶ崎緑地

活動として推進していくことが大切です。

全国其自然海岸の現状

もう一つ、神奈川が誇れるものとして、自然海岸が多く残っていることです。1985年から1987年までNHKが「ぐるっと海道3万キロ」という番組を作りました。正確には日本の海岸線は3万3千キロです。ここ40～50年の海岸線変化

では、1960年代以降日本各地の砂浜海岸で汀線が後退しました。そこで、各地の海岸で侵食防止工事が行われ、1970年以降日本の海岸線は人工的な工作による影響を受けました。1996年環境庁の調査では全国其自然海岸は52%です。過去では1978年59%、1984年57%、1993年55%にすぎず、残りは人口改変された海岸線です。東京、伊勢、大阪、有明などの内湾や瀬戸内海の各地で砂浜や海岸線が次々と姿を消しました。本県でも、県の中央を流れる相模川河口の柳島地区は1988年から17年間で60mの海岸線が後退しました。そのほかでも平塚、小田原、横須賀などで、海岸線の後退は激しいです。2007年には台風で、西湘バイパスの一部が崩落する被害も生じました。

相模湾は全長190キロの海岸線ですが、約7割が自然海岸として保全されています。これは、先人たちの工夫によるものです。自然海岸を守るため「相模湾等における公有水面埋め立ての抑制(1971年)」により砂浜は保全されました。当時、日本は日本列島改造計画が主要政策で、全国で自然海岸が開発され、砂浜が減少しました。この姿を見て、当時、本県の津田文吾知事は、自分の故郷、富山が変わっていく姿に、大きな危機感を抱きました。神奈川の知事ですから、富山のことは何もできませんので、せめて神奈川の自然は守ろうと、議会に諮り、相模湾の埋め立てを禁止しました。

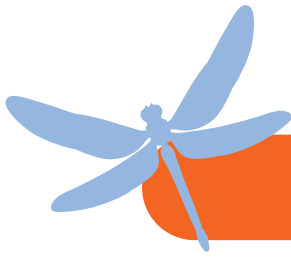
その後、東京、愛知、大阪、兵庫で海岸線の埋め立てが進み、3大都市圏の人口密集地での自然海岸はほとんどありません。日本には「浜辺の歌」や「春の小川」という自然を素材にした歌があります。これらの自然を歌の世界だけでなく、後世に残していく責務があります。

プロフィール



ひきち たかいち
引地 孝一

横浜生まれ。青山学院大学文学部教育学科卒業。神奈川県に就職後、様々な部局を経験。福祉部長、県教育委員会教育長を務めた。県退職後は神奈川県信用保証協会会長、YRP常勤監査役などを務め、現在、公益財団法人かながわトラストみどり財団理事長



イベント・ボランティアの参加について、
急な中止・行程変更がありますことをご承知おきください。



財団エックス
でも開催状況
をお知らせして
います。

かながわトラストみどり財団
2025年度 2025/8/1～2026/3/31

受付期間にお申し込みください。申込みが定員を超えた場合は抽選となります。【雨天の場合】原則として小雨天決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。【服装と持ち物】帽子、長袖、長ズボン、歩きやすい靴・筆記用具、雨具、水筒、(必要に応じて入園料、拝観料、双眼鏡等)

自然観察
&
体験イベント

自然観察会

秋の仙石原トラスト緑地で自然観察会

30人 受付 8/1～8/31


10月4日土 会員 無料
10:00～14:00 一般 2,000円
学生 1,000円

※昼食(敷物)持参※別途入園料必要

【講師】県立生命の星・地球博物館名誉館員 勝山輝男氏
環境省箱根パークボランティア 石原和美氏

【集合】箱根湿生花園入口10:00

【コース】箱根湿生花園～トラスト緑地～箱根湿生花園(昼食)～トラスト緑地～箱根湿生花園●秋の風物詩、仙石原のスキを楽しみながら、普段は入ることのできないトラスト緑地で自然観察を行います。※トラスト緑地立ち入りに関して、箱根湿生花園へのお問い合わせはご遠慮願います。



自然観察会

樹木医と歩く自然観察会

25人 受付 8/1～8/31

10月18日土 会員 無料
9:00～12:30 一般 2,000円
学生 1,000円

【講師】日本樹木医会神奈川県支部

【集合】東高根森林公園南口パークセンター前9:00

【コース】東高根森林公園南口パークセンター前から公園内を散策、解散
●樹木医と歩きながら「樹木のボディランゲージで見つける危険な木」を学びます。



歴史見学

まるごと歩く平塚宿

30人 受付 8/1～8/31

10月21日火 会員 無料
9:00～12:00 一般 2,000円
学生 1,000円

【講師】NPO法人東海道ウォークガイドの会

【集合】JR平塚駅東口改札前9:00

【コース】平塚駅～馬入一里塚跡～丁髷塚～平塚八幡宮～お菊の墓～江戸方見付跡～平塚の塚～上方見付跡
●馬入の渡しを越えれば間もなく平塚宿。平塚八幡宮にお参りして目の前にそびえる高麗山に向かって平塚宿を西へ歩きます。



自然観察会

箱根板橋界隈、小田原城の歴史と自然探訪

30人 受付 9/1～9/30

11月8日土 会員 無料
10:00～15:00 一般 2,000円
学生 1,000円

※昼食・敷物持参

【講師】NPO法人全国森林インストラクター会 神奈川会

【集合】箱根登山鉄道箱根板橋駅改札外10:00

【コース】箱根板橋駅～松永記念館～総構土壘・堀～城山庭球場(昼食)～小田原城～小田原駅
●小田原城周辺の政財界人の邸園、城郭総構の遺構、城下の樹叢林(じゅそうりん)・名木古木を巡ります



財団40周年記念事業

鎌倉禅寺を巡る歴史探訪②

30人 受付 9/1～9/30


11月12日水 会員 無料
9:30～12:30 一般 2,000円
学生 1,000円

※別途拝観料必要

【講師】神奈川県文化財協会顧問
八幡義信氏

【集合】北鎌倉駅西口前(白鷺池側)9:30

【コース】白鷺池～総門～山門～仏殿～大方丈・庭園～舍利殿～洪鐘～解散
●昨年開催の歴史探訪の反響を受けて再実施します。日本の禅寺で建長寺に次いで創建、鎌倉五山の第二位・大本山円覚寺を巡ります。



歴史見学

古都鎌倉 秋の緑と歴史探訪

10人 受付 9/1～9/30

11月26日水 会員 無料
9:30～12:30 一般 2,000円
学生 2,000円

※別途拝観料必要

【講師】神奈川県文化財協会顧問
八幡義信氏

【共催】(公財)鎌倉風致保存会

【集合】北鎌倉駅西口9:30

【コース】北鎌倉駅西口～円応寺～長寿寺～英勝寺～寿福寺(解散)
●秋の紅葉を楽しみながら、亀ヶ谷坂を通り、扇ガ谷の寿福寺などを訪れます。



歴史見学

鎌倉・十二所の寺社と朝比奈切通

25人 受付 10/1～10/31

12月6日土 会員 無料
10:00～15:00 一般 2,000円
学生 1,000円

※別途拝観料必要 ※昼食(敷物)持参

※健脚向けコース

【講師】インタープリター 山口正志氏

【集合】鎌倉駅東口10:00

【コース】鎌倉駅～明王院～光触寺～十二所神社～朝比奈切通～金沢八景駅
●鎌倉十二所エリアの寺社を巡ります。コース最後に和田義盛の三男が切り開いたとされる朝比奈切通を通ります。



自然観察会

初冬の俣野別邸庭園と時宗総本山遊行寺を散策する

25人 受付 10/1～10/31

12月9日火 会員 無料
9:00～13:00 一般 2,000円
学生 1,000円

【講師】江の島・藤沢ガイドクラブ

【集合】藤沢駅北口サンパル広場9:00

【コース】藤沢駅～俣野別邸庭園～遊行寺～藤沢宿交流館～藤沢駅
●俣野別邸庭園の自然散策と時宗総本山遊行寺や遊行寺坂の歴史散策を楽しみましょう。
※別邸入館(有料)しません。



野鳥観察会

平塚・花水川で野鳥観察会

30人 受付 11/1 ~ 11/30
令和8年 会員 無料
1月24日(土) 一般 2,000円
9:00~12:00 学生 1,000円



※双眼鏡持参
【講師】こまたん
【集合】JR東海道線平塚駅東改札前9:00
【コース】平塚駅～古花水バス停～花水川左岸～花水橋(一旦解散) ※その後、希望者は上平塚バス停で解散
●花水川左岸の土手を花水橋から平塚大橋まで約2km、ゆっくり歩きながら冬の野鳥を観察します。

野鳥観察会

カモと冬鳥達を見つけよう

20人 受付 12/1 ~ 12/26
令和8年 会員 無料
2月14日(土) 一般 2,000円
9:00~12:30 学生 1,000円



※双眼鏡持参
【講師】NPO法人藤沢サンクチュアリ 高橋和也氏
【集合】横浜市営地下鉄ブルーライン 下飯田駅改札前9:00
【コース】下飯田駅→境川遊水地公園(一時解散)→下飯田駅
●境川遊水地公園でカモや冬鳥を観察します。

申込方法

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団みどり企画課 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20/FAX: 045-412-2300/Eメール: midori@ktm.or.jp/ WEBサイト: www.ktm.or.jp 【申込方法】イベント内容をご確認の上、●参加を希望するイベント名、●参加希望者全員の氏名・住所・電話番号、●会員の方は会員番号、または一般・学生(年齢)を明記して、

FAX・Eメール・ハガキ・財団WEBサイトにてお申し込みください。【雨天の場合】原則として小雨決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。【お願い】集合時間になりましたら出発します。遅れないようご注意ください。 ※コース内のバス代・乗船料は各自負担となります。 ※定員を超える申し込みがあった場合は抽選となります。



報 告

財団設立 40 周年記念

藤塚松星氏に学ぶ伝統工芸の竹の世界

【開催日時】2025年5月13日(火)
【場所】三溪園鶴翔閣
【講演・実演】藤塚 松星氏
(重要無形文化財(竹工芸)保持者)



社会問題として放置竹林や竹害といった手入れ不足が深刻化する一方で、竹庭や竹寺などの景観美や、伝統工芸品としての竹工芸には高い文化性と歴史的価値が認められており、この乖離こそが「タケ・竹林」の特徴といえます。そこで、改めて竹工芸の文化・技術を学ぶことで、タケの魅力を再認識し、竹林環境の持続的な保全につなげていくための講演を開催しました。

本会では、人間国宝である竹工芸家の藤塚松星氏を特別にお迎えしてご講演をいただきました。講演では、タケの種類から日本の竹文化、さらにはザル、カゴなど社会生活に根差した道具類やタケの素材としての幅広い役割について解説いただきました。また、実演では丸竹からヒゴにする工程や、作品づくりの一部である編組の技法も披露していただ

きました。会場には先生の作品も展示され、藤塚氏の竹に対する取り組み姿勢や愛情を存分に感じられる講座となりました。

当日の様子はYouTubeかながわトラストみどり財団専用チャンネルでご覧いただけます。

→@公財かながわ
トラストみどり財団
YouTubeチャンネル



小網代の森ホテル観賞のための夜間開放について

小網代の森は普段は夕方の6時に閉場となりますが、「ホテル観賞」のため、令和7年5月30日(金)、6月4日(水)の計2日間は夜間開放されました。残念ながら5月30日は荒天のため中止となりましたが、6月4日は天気に恵まれ、千人を超える来場者がありました。

財団では夜間開放に合わせて、小網代の森保全のための

募金活動と、会員及び寄附者が安心して安全にホテル観賞を行えるよう巡回バスや入口案内を実施しました。



また、来年度に継続できるよう計画していきます。

トラスト巡回バス
京急線三崎口駅から引橋、小網代湾を結び巡回バスを夜間開放時間に運行。



自然観察

&


体験イベント

2025年度
(~2026年3月31日)

森に行こう！活動に参加しよう！

森林ボランティア


畑宿 箱根町 県有林
100人(先着順) 受付 8/1 ~
間伐 **10月4日** 土
 予備日:10/5日
【集合】小田原駅西口 8:30
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
【協力】箱根高原ホテル
【行程】小田原駅(専用バスで移動)⇒現地⇒箱根高原ホテル⇒小田原駅
 ◆昼食後温泉入浴可




久野 小田原市 水垂
100人(先着順) 受付 8/1 ~
枝打 **10月12日** 日
 予備日:10/13日
【集合】小田原駅西口 9:00
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
【行程】小田原駅(専用バスで移動)⇒現地⇒小田原駅




岩 真鶴町 真鶴町県行造林
100人(先着順) 受付 8/1 ~
間伐 **10月26日** 日
 予備日:なし
【集合】小田原駅西口 8:30
 / 星が山公園さつきの郷駐車場 9:30
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場があります
【行程】小田原駅(専用バスで移動)⇒現地⇒小田原駅




畑宿 箱根町 県有林
100人(先着順) 受付 9/1 ~
間伐 **11月5日** 水
 予備日:11/6水
【集合】小田原駅西口 8:30
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
【協力】箱根高原ホテル
【行程】小田原駅(専用バスで移動)⇒現地⇒箱根高原ホテル⇒小田原駅
 ◆昼食後温泉入浴可




久野 小田原市 水垂
100人(先着順) 受付9/1 ~
枝打 **11月23日** 日
 予備日:11/24月
【集合】小田原駅西口 9:00
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
【行程】小田原駅(専用バスで移動)⇒現地⇒小田原駅




谷ヶ 山北町 鳥手山
60人(先着順) 受付10/1 ~
間伐 **12月6日** 土
 予備日:12/7日
【集合】山北町役場駐車場 9:00
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場があります
【共催】山北町
【行程】山北町役場(専用バスで移動)⇒現地⇒山北町役場




二階堂 鎌倉市 永福寺跡
60人(先着順) 受付 10/1 ~
除伐 **12月20日** 土
 予備日:12/21日
【集合】鎌倉駅東口 8:30
 ※徒歩で移動
 ※自家用車駐車場はありません
【行程】鎌倉駅(徒歩40分)⇒現地⇒現地解散




麻生区 万福寺 川崎市 万福寺さとやま公園
100人(先着順) 受付 11/1 ~
除伐 **2026年1月17日** 土
 予備日:1/18日
【集合】新百合ヶ丘駅北口 9:00
 ※徒歩で移動
 ※自家用車駐車場はありません
【後援】川崎市 **【共催】**(公財)川崎市公園緑地協会
【行程】新百合ヶ丘駅(徒歩20分)⇒現地⇒現地解散



子易 伊勢原市 大山地区
60人(先着順) 受付 11/1 ~
除伐 **1月24日** 土
 予備日:1/25日
【集合】伊勢原駅北口 9:00
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
【共催】伊勢原市
【行程】伊勢原駅(専用バスで移動)⇒現地⇒伊勢原駅



麻生区 黒川 川崎市 特別緑地
100人(先着順) 受付 12/1 ~
除伐 **2月14日** 土
 予備日:2/15日
【集合】はるひ野駅南口 9:00
 ※徒歩で移動
 ※自家用車駐車場はありません
【後援】川崎市 **【共催】**(公財)川崎市公園緑地協会
【行程】はるひ野駅(徒歩20分)⇒現地⇒現地解散



森林ボランティア

申込方法

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団みどり森林課
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20
 TEL : 045-412-2255
 Eメール : midori@ktm.or.jp
 WEBサイト : www.ktm.or.jp

【申込方法】申込は活動内容をご確認の上、●参加希望日●参加希望者全員の氏名(ふりがな)・住所・電話番号●森林整備活動登録番号(ボランティア番号)をお持ちの方は登録番号を明記して、電話・Eメール・財団WEBサイトにてお申し込みください。

【雨天や現場不良等の場合】予備日のある場合は延期、ない場合は中止。

【実施の可否の確認方法】実施日前日の18時以降に、財団WEBサイト、当財団の録音テープ(045-412-2255)でご確認ください。

【参加について】当財団WEBサイト「森林づくり活動参加にあたって」をご覧ください。



県庁本庁舎公開イベントで 緑の大使がPR活動

2025年5月3日(土)県庁本庁舎(キングの塔)公開イベントが実施され、かながわ緑の大使3人が財団事業とGREEN×EXPO2027のPR活動を行いました。

当日は晴天に恵まれ、多くの来場者に神奈川のみどりを守り育てる事業の発信してくれました。



企業団体研修をトラスト緑地で

多くの企業や団体が森林ボランティア活動や森林浴を社員研修や福利厚生に取り入れ、健康増進やチームワーク強化、SDGs研修などに活用しています。ぜひ、トラスト緑地で枝払いや木柵の設置など、緑地保全に貢献しませんか?関心のある法人会員の皆さまはお気軽にご連絡ください。

【参考事例】企業団体緑地保全研修会
集合解散/久田緑地(大和市上和田)
最寄り駅/小田急線桜ヶ丘駅
参加人数/約3~10人
参加条件/法人会員であり参加費
2万円以上の寄附
活動内容/緑地産の木材で木柵作成、竹林整備、
薪割など(季節によって変更)



処分される未利用木材の資源活用

磨いてください“トラストの源木”活用事業

維持管理上で産出した樹木について、処分ではなく寄附返礼品として活用いただける方にお譲りする試作事業です。活用を希望する企業や団体のお問合せをお待ちしております。

【活用資源】広葉樹、針葉樹などの丸太や枝木、竹など



緑化運動・育樹運動標語コンクール 一般の部作品募集中

樹木を植える大切さや人と緑の関わりをテーマにした標語を募集します。

応募資格は神奈川県在住・在勤者で応募点数は1人1点。標語と氏名・職業・住所・電話番号を明記の上、はがきで郵送ください。2025年9月10日(水)必着です。

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団緑化コンクール係
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20



京急百貨店上大岡フェスティバル 2025

夏休みSDGsフェアに出展します

「竹玉(たかだま)でブレスレットを作ろう!」

2025年8月2日(土)~8月4日(月)

各日午前10時~午後3時 京急百貨店7階催事場

参加費:募金300円以上 当日会場にて受付

トラスト緑地の竹を使って、日本最古の歌集「万葉集」に詠まれた竹玉飾りを作ります。



小網代の森保全への 寄附感謝状贈呈

京急百貨店より紙製手提袋の有料化に伴う収益の一部を「小網代の森保全」へ寄附いただき、6月30日(月)京急百貨店にて感謝状を贈呈しました。



(左)京急百貨店 金子取締役社長
(右)財団新井専務理事

挿絵/横山寛多

募集中

機関誌「ミドリ」や イベントなどの感想

応募方法:①〒と住所/②連絡先(電話やメール)/③氏名/④あれば会員番号/⑤機関誌「ミドリ」アンケート、イベントや財団活動への感想やご意見など①~⑤を明記し、メールやハガキにてお送りください。

編集

後記

「森は海の恋人」を合言葉に、気仙沼の漁師でありながら森の植樹活動を主宰し、日本内外で活躍された畠山重篤さんが2025年4月に81歳で逝去されました。小網代の森にお越しいただき講演された際の言葉が、深く私の心に刻まれています。

「価値観を共有しなければ保全の道筋は立ちません。本気の人々は伝え方に強い説得力があるように感じます。経験に裏打ちされた活動家の思いがよく伝わる。」(ミドリ115号掲載) 畠山さんのご冥福をお祈り申し上げます。(壹崎)



財団設立 40 周年寄附金募集事業

これからのトラスト緑地保全のための 寄附金募集のお願い

イメージ

2025年は財団の前身であるみどりのまちながわ県民会議の発足(1985年)から40年目にあたります。これを契機としてトラスト緑地応援寄附事業を行います。キャンペーン期間中に専用の振込用紙またはクレジットカードから寄附いただくと、寄附者のお名前が記された木竹札を各トラスト緑地の「寄附御礼看板」に掲示します。

現在、資金を必要としている小網代の森、久田、葛葉緑地のいずれかを選択し、40周年記念寄附金の協力をお願いします。



トラスト緑地保全支援事業

こあじろ
小網代の森緑地
(NPO法人小網代野外活動調整会議)

神奈川県三浦市にある小網代の森は、アカテガニやホタルなど多くの生きものたちが生息する自然豊かな森です。

小網代の森は源流域を含む森林、河川、干潟が人工物で遮られずに繋がっており、この連なった流域生態系は首都圏では唯一であり、多様な環境には約2千種の動植物が生息しているといわれ、次の世代に引き継ぐべき貴重な森です。

この多様な自然環境は2014年の一般開放が始まって以降、植生管理や湿原回復など様々な手法による活動によって生み出され、保全が進められています。この良好な自然を維持管理するために、より多くの皆さまからの支援を必要としています。



ご協力を
お願いします

花咲く森、小網代の森へ ヤマユリ育成中

ヤマユリは神奈川県の県花として愛され、その容姿の美しさが讃えられるほど、緑地を彩るシンボリックな存在です。ヤマユリが咲き誇る小網代の森を目指し、種の育苗や自生地環境の改善に取り組んでいます。ぜひ、ご協力をお願いします。



ご協力をお願いします

葛葉緑地

(くずはの家ボランティアの会)

シカ侵入防止柵の設置に向けて

ここ2、3年で急激にシカの定着个体が増え、大食漢のシカが食べる植物が少なくなっています。既存の柵では抑えきれず、新たな部分への設置が緊急課題となっています。貴重な植物が失われる前に対策を取らねばなりません。また、シカを宿主とするヤマビルも増加しており、ヤマビル被害を抑制するためにも、緑地内へのシカ侵入を防ぐ柵の設置が必要です。ぜひご協力をお願いします。



葛葉緑地について

市内北部を流れる葛葉川が大地を刻み、蛇行してきた峡谷が葛葉緑地です。湧き水が豊富な環境であり多種多様な動植物が生息しています。

寄附方法

キャンペーン期間／令和7年8月1日(金)～令和7年12月31日(水)
方法／機関誌ミドリ137号、138号専用振込用紙またはクレジット決済

ご協力をお願いします

久田緑地

緑地の定期的な手入れ作業に

緑地と隣地境界にあたる樹木の刈り払い(剪定)などにコストが多くかかります。良好な自然環境を保全するために維持管理費用のご支援をお願いします。



久田緑地について

緑地東部を流れる境川のゆるやかな河岸段丘に沿って約1キロに及ぶ樹林地で、多種多様な動植物が生息し、樹林地と周辺の畑や屋敷林が織りなす農村景観が維持されています。

特典／一口5千円以上(総計五口以上で大札)、法人は一口1万円以上になります。寄附者名が入った木竹札をご指定の緑地の「寄附御札看板」に掲示します。

掲示予定場所(場所を変更する場合があります)／
小網代の森緑地(えのきテラス新設看板)
久田緑地(もえもん坂下看板)
葛葉緑地(くずはの家付近看板)

木竹札／久田緑地産材を使用し手書き印字によって名前を記載。

掲載期間／令和8年6月～令和8年12月頃

古里みどり

所得税・住民税の優遇措置について

(公財)かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算は①②いずれかを選択することができます。

①税額控除(所得税)

① 所得税の減少分

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

② 住民税の減少分

県民税 (年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

(②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

②所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

付属の振込用紙からゆうちょ銀行・郵便局の窓口やATMで手続きできます。

同封の振込用紙の取扱いについて

[注意] 現金でのお振込みの場合は手数料がかかります。

- ①本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ②振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄にをお願いします。

● (公財)かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます

真に豊かな三浦の海を願い
三浦ブルーカーボンベルトを目指して
2022年からリビエラシーボニアマリーナでも
藻場再生に取り組んでいます。



リビエラシーボニアマリーナ

tel: 046-882-1286 神奈川県三浦市三崎町小網代1286



スペースキーポイント

近未来デザインでグランピング体験を！



SPACE KEY POINT
RIVIERA SEABORNIA MARINA



tel:
046-884-1006
ご予約はHPから→



紙の使用を 減らしませんか？

紙マニフェスト → 電子マニフェスト先生

🕒 紙の使用・作業時間

約 **90%** 削減



紙マニフェスト 電子マニフェスト先生

※自社調べ



電子マニフェスト管理システム (排出事業者専用)

電子マニフェスト先生

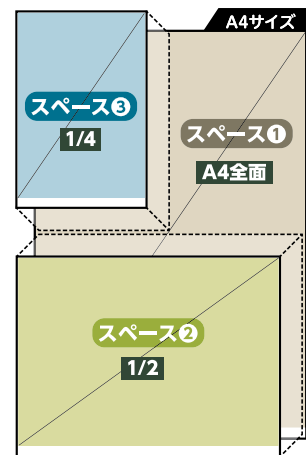
検索

MAIL: info@linkinno.jp TEL: 045-222-0888 (専用)

URL: https://denshimanifest.com

法人・団体会員様を 紹介いたします！

法人団体会員など財団事業
をご支援いただいている企
業・団体様の広告を募集して
います。日頃の社会活動を
PRする機会としてご利用くだ
さい。掲載料は機関誌「ミドリ」
の制作費の一部として使用し
ます。



規格 及び 掲載料

| 規格 | サイズ(幅×高さ) | 掲載料 |
|-------|----------------------|---------|
| スペース① | 全面広告 (180W×270H) | 80,000円 |
| スペース② | 1/2広告 (180W×130H) | 40,000円 |
| スペース③ | 1/4広告 (88W×128H) | 20,000円 |